

大きなイベント「一宮七夕まつり」の中で、市民による小さなまつりをたくさんつくろう！
ラブな七夕祭り、ダレデモ・ドコデモな七夕まつりを目指して

ラブたな

大きなイベント「一宮七夕まつり」

繊維産業が隆盛を極めた一宮地域で、仙台の七夕まつりを模して昭和31年に始まったのが、「日本三大七夕 おりもの感謝祭 一宮七夕まつり」(正式名称)です。来年には還暦(60回)を迎えます。

七夕まつりは、集団就職などで遠方から集まってきた繊維産業の若年労働者たちのレクリエーションと交流の機会であり、憩いと買いまわりの場でもあり、その集客はすさまじいものでした。

かつては市内全域で七夕飾りが飾られ、各家庭でも笹飾りなどを門などにつけたものですが、いつのころからか、中心商店街のみが会場のイベントとなりました。

毎年100万人以上の来場者があります。しかし、もうずっと行ったことがないという地域住民がたくさんいます。この故郷の一番大きなまつりが、興味の対象にすらなっていない人が多くいます。

小さな手づくりまつり「ラブたな」

そんな七夕まつりを、自分たちが誇りに思い、誰もが行きたいまつりにと活動してきたのが「ラブたな」です。

市民自身が楽しいと思えるような中身で

市民自身が自主的に開催運営し

自分たちも、そして多くの人たちも、一緒に楽しめるようなイベントを

たとえ小さくてもいいから手づくりしていこう

それらが支えあって連携し、七夕まつりに滞留性と回遊性と文化性をつくろう

どすこいライブ

1998年、私たちは、七夕まつりの隅の方で、土俵をステージにした無料野外コンサート「どすこいライブ」を始めました。その土俵は尾張国一宮真清田神社のすぐ北裏にあります。自分たちで行政と交渉し、自分たちでミュージシャンを集め、自分たちでステージを作り、何から何まで持ち寄って、そして多くの来場者に楽しんでもらうものでした。ここから、私たちの「ラブたな」活動がスタートしました。



無料野外コンサート「どすこいライブ」会場風景



土俵のステージ

にぎわい広場

1999年からは、市役所正面玄関前の公園で、無料休憩所・フードコート・ライブステージの「にぎわい広場」がスタート。やがてここも市民ボランティア運営となり、色々な障害をクリアしながら、200席以上が毎日満員となるまで育ち、滞留性と回遊性と文化性を培ってきました。この市民運営では、真清田神社で毎年春に開催する「杜の宮市」での経験が大きく生かされています。



一宮市役所 正面玄関前「にぎわい広場」入口



「にぎわい広場」場内風景

ラブたなマップ

こうした活動をさらに広げるため、2002年からはラブたなマップを作りました。市民が自分たちで作っているイベントを掲載したマップを1万枚作り、七夕まつりの公式案内所で配布してもらい、回遊性の確保を図ってきました。そこには町内会で開催しつつ、誰でも参加しやすい七夕まつりや、七夕に合わせたオープンな展示会、イベントなどが掲載されてきています。

ラブたなマップ A3(二つ折り)を、1万枚配布

結びの宮市・サンライズ広場

2008年からは「結びの宮市」が始まりました。かつて駅から本町商店街を結ぶメインストリートで、今は静かになってしまった「結び小路」。このエリアを活性化し、大人のシックな七夕まつりをつくろうという活動です。手づくりアートクラフト作品などが、当初は路上で展示販売。翌年からは近くの駐車場を「サンライズ広場」とし、紆余曲折のあと、「にぎわい広場」のような滞留性と回遊性と文化性の場所に育ってきました。



サンライズ広場、無料休憩所



サンライズ広場内「結びの宮市」

2014 ラブたな 13

どすこいライブは今年で17回目、今は4世代目が運営しています。

にぎわい広場は、市役所建て替えて公園が無くなり、中止していますが、再来年には復活予定です。

サンライズ広場・結びの宮市は、今年から完全に市民ボランティア運営となり、活性化していくはずです。

ラブたなマップは資金が乏しい運営ながら継続し、今年で13号を発行します。



i-ビルシビックテラス「市民活動支援センター七夕」



中小路の町内運営による公開七夕まつり

「ラブたな」活動の目指すもの

一宮地域は、隆盛を極めた繊維産業に守られた豊かな地域でした。しかしその豊かさは、逆に市民の自由闊達で、雑多な活動、小さな活動を生みにくい環境を作ってきたと考えます。ビジネスから福祉、教育や文化まで、行政や大きな資本、大きな組織に頼ってきた傾向が強く見られます。七夕まつりも、そうした行政、大資本、大組織、主体となり、市民はその受け皿に乗ることが多かったように見えています。

「ラブたな」は、会社に勤め、事業を起し、家族を守り、自ら学ぶ普通の市民が、自らの地域の資源・宝物として七夕まつりを大切に、21世紀の今のライフスタイルや感性、ニーズに合う七夕を、市民自らの手で作っていかうという活動です。

その中からは、東北の夏まつり支援の「七夕 for 七夕」という活動も生まれました。

イベントはイベントにしか過ぎず、日常に直結するものではありません。しかしイベントは、市民主体の活動が広がっていく過程で大切な実験と体験の機会となります。

私たちは、市民が市民イベントを開催しつつ、地域へ能動的に働きかけていくような自主性を培っていく活動を「まつりづくり」と呼んでいます。単に七夕まつりという「イベント」だけでなく、地域の諸課題に対して市民が自ら行動・実践をしていくように、各層で市民主体の地域性がしっかりとしてくるきっかけになれば、自主的市民性が太くなるようになればと願っています。

大きな七夕まつりの中で、小さな「まつりづくり」
手作りの、市民の手によるイベント

「らぶたな」を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



仙台七夕へ短冊を届ける

自主的にごみ処理をするボランティアたち

ラブたな～七夕まつりを愛する志民の会 事務局

電話 090-2265-9188 ファックス 0586-72-8885 メール info@lovetana.net URL <http://www.lovetana.net>
〒491-0859 一宮市本町4丁目12番7号 (NPO 法人志民連いちのみや 担当 星野博)